

獣害用防護柵設置に補助金を交付します

市では、イノシシなどの野生動物による農作物の被害防止のため、防護柵などの資材購入に対する補助を行っております。

●対象：市内の農地を耕作し、継続的に農作物を生産している者または団体

●要件：平成30年度に獣害用防護柵(電気柵、トタン板、ワイヤーメッシュなど)を新規に購入(買い換えも含む)し設置する場合

●申請方法：左記窓口へ必要事項を付けた申請書に必要事項を記入の上、次の書類を添えて提出。

①防護柵資材の見積書(写し)

②設置箇所が分かる図面

●補助金額：資材購入費の2分の1(千円未満切り捨て、限度額あり)

※取付・設置費を除く

問 申農林整備課 文3階

TEL (23) 8012

問 黒羽支所総合窓口課 黒

TEL (54) 1112

苗木配布会

春の緑化運動のひとつとして、家庭の緑化を推進するために、苗木の配布会を行います。当日は「緑の募金」にもご協力ください。

●日時：5月16日(水)午前10時※午前9時30分から整理券を配布

●場所：ふれあいの丘(福原)

●配布苗木：ブルーベリー、サザンカ(2本組400セット)

問 農林整備課 文3階

TEL (23) 8126



農業体験参加者募集

■お茶摘み・手もみ体験

●日時：5月26日(土) 午前9時

●場所：大田原市須賀川

●定員：20名

●費用：500円

●申込方法：5月7日(月)午前8時30分～5月14日(月)に左記へ電話または直接申し込み。

※詳細は後日参加者に連絡します。

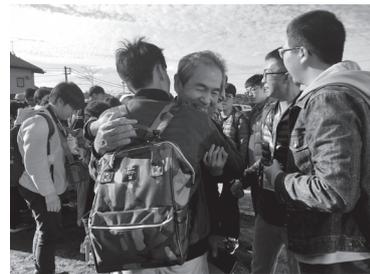
※応募者多数の場合は、抽選。

問 申(公財)大田原市農業公社

TEL (23) 4834



グリーン・ツーリズム通信



グリーン・ツーリズムって?

田舎で自然や文化に触れながらその土地の人々との交流を楽しむ宿泊型の休暇の過ごし方で、農家民泊はその代表的な体験です。

農家民泊とは?

農家民泊は、都会の学生たちをホームステイさせて、農業体験や田舎体験を通して、地域の良さや農業の大切さを伝える、とてもやりがいのある楽しい活動です。交流を深めることで大田原市のファンになってもらい、魅力度アップと定住促進が図られることを目的としています。

収入について

農家民泊はボランティア

広報おおたわら有料広告募集

1号広告・2号広告

●掲載枠…縦45mm×横90mm・縦45mm×横180mm

●掲載料金…15,000円・30,000円

●掲載ページ…広報おおたわら「お知らせ」の最下段

●発行回数…毎月1日発行

●発行部数…21,600部

●申込方法…所定の用紙に必要事項を記入の上、要領に定められた書類を添えて下記まで申し込み

問 情報政策課 A2階 TEL(23) 8700

問 商工観光課 文2階

TEL (23) 8709

ではありません。2泊3日の受け入れで1人あたり約12000円の収入になります。月1回4人グループを受け入れると年間約50万円の副収入が見込めます。農家民泊をきっかけに、大田原市の魅力を全国に発信していきましょう。農家の方ならどなたでも始められるのが農家民泊です。まずはお気軽にお問い合わせください。

A 仮設庁舎A棟

B 仮設庁舎B棟

東 東別館

文 大田原市総合文化会館

南 南別館

議 議会棟

イベント



県の施設をみる

「県民バス」参加者募集

●日時：6月14日(木)

▼第1集合地：余笹川ふれあい公園(午前8時集合、午後4時解散)

▼第2集合地：那須野が原公園(午前8時30分集合、午後4時解散)

▼第3集合地：那須野が原ハーモニーホール(午前9時集合、午後3時40分解散)

●見学施設：栃木県庁、県立美術館

※昼食は、県庁内の飲食施設(各自自由)

●対象：大田原市、那須塩原市および那須町に在住の方

●定員：46名

※応募多数の場合抽選

●申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に、①氏名②住所③電話番号④年齢⑤性別⑥希望集合地を明記し、

〒320-8501
栃木県庁広報課県民プラザ室(住所不要)へ申し込み。1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、そ

れぞれ①～⑥を明記。

●申込期限：5月24日(木)

消印有効

問 県民プラザ室

TEL 028(623)3766

第40回 せつき 泉月展

市内の泉月愛好者が丹精込めた作品を一堂に集めたさつき展を開催します。

●日時：5月31日(木)～6月3日(日)

※31日～2日は午前9時～午後5時、3日は午前9時～午後4時

●場所：那須与一伝承館多目的ホール

●内容：競技花の部、銘花の部、銘木の部など

●主催：大田原泉月会

問 大田原泉月会

会長 加藤 恵二

TEL (22)2315

芭蕉ウィークイベント

松尾芭蕉が「おくのほそ道」

の行程で黒羽地区に逗留した5月21日(月)～6月3日(日)を「芭蕉ウィーク」と称しイベントを開催します。

【芭蕉が訪ねた九尾伝説の地 くらばねの旅】

観光案内ボランティア「ふるさとを知る会」がご案内します。

●日時：5月27日(日)

午前10時～午後3時

(雨天決行)

●集合：那須塩原駅または道の駅那須与一の郷

※受付は午前9時30分より(道の駅那須与一の郷)

●行程：那須塩原駅⇨道の駅那須与一の郷(受付)⇨玉藻稻荷⇨御堂地観音⇨大雄寺⇨旧浄法寺邸(昼食)⇨雲巖寺⇨猪俣邸(城下町くろ

ばね展)⇨道の駅那須与一の郷⇨那須塩原駅

●定員：25名(市外在住者も可)(先着順)

●参加費：2000円(昼食代・バス代)

●その他：動きやすい服装履きなれた靴でご参加ください。

●申込期間：5月10日(木)～18日(金)

※詳細は、市観光協会ホームページをご覧ください。

http://www.ohawara.info

問 (株)大田原ツーリズム

TEL (47)6759(平日午前9時30分～午後5時)

問 大田原市観光協会

TEL (54)1110

【城下町くろばね展】

江戸時代より城下町として栄えた黒羽は、那珂川の舟運も開け、多くの人々の交流の地でもありました。また、元

禄時代には、松尾芭蕉が「奥の細道」の途中に立ち寄り、13泊14日の最長滞在をしたとされる誇れるふるさとです。

地域社会の活性化と文化芸術振興を図るため、黒羽在住の作家の作品展を開催します。由緒あるお屋敷でお待ちしています。

●日時：5月19日(土)～27日(日) 午前10時～午後4時

●場所：猪俣邸(黒羽向町46)

●内容

①作品展

②抹茶席：26日(土)、27日(日)

③カフェテリア(日曜以外)

④サクソフォン演奏 木村 義満氏

20日(日)午後1時30分～

⑤弦楽四重奏の演奏 A H S A室内合奏団

25日(金)午後1時30分～

問 大田原市観光協会

TEL (54)1110

